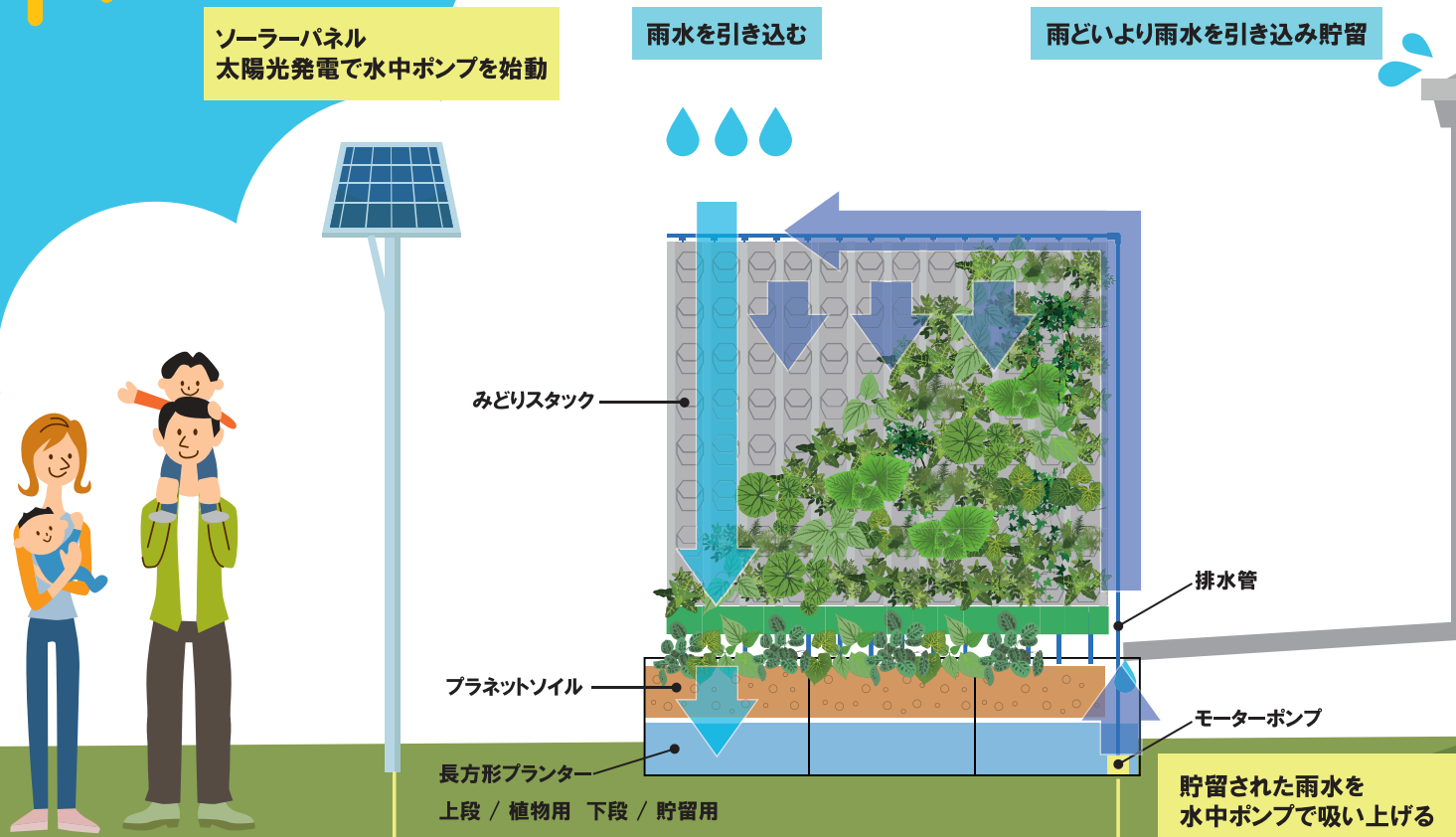


雨宿里・ハイドロ雨水循環壁面緑化システム

キーワード：「ハイドロカルチャー植物」、「雨水利用循環」、「ソーラー電源」、「生産・生長緑化」、「カセット交換」



グリーンインフラの自然環境に即した雨水循環型の壁面緑化

“みどりスタック” 雨水循環壁面緑化システムは、団粒構造の発泡材料を利用した培地にハイドロカルチャー植物を植えこんでいるため灌水しても培地の流出がなく、ソーラーパネル電源を利用した水中ポンプで下部の雨水貯留槽からプランター上部へ循環灌水することができるシステムである。

植込み材料の1つのガラス発泡材シリカ（ケイ酸）ソイルは、雨水貯留槽内の大腸菌を抑える効果と、植物の健全な生長を助ける働きがある。

常緑植物以外に花ものから、宿根草、野菜、ハーブなど様々な植物の栽培が出来る。植物はカセット式で交換可能なため、生産緑化としての利用が出来ることも特徴である。



8月でも咲くシクラメン。(2023/8/24 撮影)
シクラメンの周りの旺盛な植物の生長によって蒸散気化熱を奪い涼しくなっている。

雨宿里



雨宿里は近年問題になっているゲリラ豪雨や台風などの大雨に対し、一般住宅の庭から被害を軽減できる取組みをしているモデルハウスです。
「ハイドロ雨水循環壁面緑化システム」では雨どいより雨水を引き込み貯留・再利用しています。

みどりスタック



植物がセットできるユニットを積み上げるように組み合わせていき、壁面に取り付けることができる緑化システムです。
軽量のプラスチック製ユニットとともに、土よりも軽いハイドロカルチャー植物と組み合わせることにより、様々な設置条件をクリアすることに貢献します。

ハイドロカルチャー植物



一般の土栽培は水を底面に溜めると根が腐るので排水を必要とし、植物に水を与えてもその大半は廃棄してしまいます。
しかしハイドロカルチャーは水と肥料と共に植物が吸収した分だけ供給すればよく、環境にやさしく経済的です。
植物が元気に育ち、水やりも簡単。虫がつきにくく、自由なレイアウトが可能です。

パフカルシリカ培地



パフカルチップとシリカソイルの特徴を生かした屋外用ハイドロカルチャー植物培地です。
パフカルシリカ培地で植えることによって雨水を汚さず、灌水ポンプも土壌で詰まらせることがありません。
雨水貯水された水はシリカソイルによって浄化され排水されていきます。

